工事の工程	検査事項
一　原子炉本体、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設、原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）、計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置を除く。）、放射性廃棄物の廃棄施設（排気筒を除く。）、放射線管理施設又は原子炉格納施設（排気筒を除く。）につい	原子炉本体、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設、原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）、計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置を除く。）、放射性廃棄物の廃棄施設（排気筒を除く。）、放射線管理施設又は原子炉格納施設の構造、機能又は性能を確認する検査のうち次に掲げるもの 一　材料検査 二　寸法検査 三　外観検査 四　組立て及び据付け状態を確認する検査 五　耐圧検査 六　漏えい検査 七　原子炉格納施設が直接設置される基盤の状態を確認する検査
二　蒸気タービンの車室の下半部の据付けが完了した時及び補助ボイラーの本体の組立てが完了した時	一　蒸気タービンの構造、機能又は性能を確認する検査のうち次に掲げるもの イ　材料検査 ロ　寸法検査 ハ　外観検査 ニ　組立て及び据付け状態を確認する検査 二　補助ボイラーの構造、機能又は性能を確認する検査のうち次に掲げるもの イ　材料検査 ロ　寸法検査 ハ　外観検査 ニ　組立て及び据付け状態を確認する検査 ホ　耐圧検査 ヘ　漏えい検査
三　発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設、原子炉冷却系統施設、計測制御系統施設、放射性廃棄物の廃棄施設、非常用電源設備、常用電源設備、火災防護設備、浸水防護施設、補機駆動用燃料設備（非常用電源設備及び補助ボイラーに係るものを除く。）、非常用取水設備、敷地内土木構造物及び緊急時対策所の機能又は性能であって、発電用原子炉に燃料体を挿入した状態において必要なものを確認する検査
四　発電用原子炉の臨界反応操作を開始することができる状態になった時	原子炉本体、原子炉冷却系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置を除く。）及び発電機の機能又は性能であって、発電用原子炉が臨界に達する時に必要なものを確認する検査
五　工事の計画に係る全ての工事が完了した時	発電用原子炉の出力運転時における発電用原子炉施設の総合的な性能を確認するために必要な検査

（使用前検査を要しない場合）

第十七条　法第四十三条の三の十一第一項ただし書の原子力規制委員会規則で定める場合は、次のとおりとする。

一　原子炉本体を試験のために使用する場合であって、その使用の期間及び方法について原子力規制委員会の承認を受け、その承認を受けた期間内においてその承認を受けた方法により使用するとき。

二　前号に規定する発電用原子炉施設以外の発電用原子炉施設を試験のために使用する場合

三　発電用原子炉施設の一部が完成した場合であって、その完成した部分を使用しなければならない特別の理由がある場合（前二号に掲げる場合を除く。）において、その使用の期間及び方法について原子力規制委員会の承認を受け、その承認を受けた期間内においてその承認を受けた方法により使用するとき。

四　発電用原子炉施設の設置の場所の状況又は工事の内容により、原子力規制委員会が支障がないと認めて検査を受けないで使用することができる旨を指示した場合

五　制限工事の場合

（機構が行う使用前検査等）

第十八条　法第四十三条の三の十一第三項において準用する法第十六条の三第三項の規定により原子力規制委員会が機構に行わせる検査に関する事務の一部は、次に掲げるものとする。

一　第十六条の表の上欄第一号及び第二号に掲げる工事の工程において同表の下欄に掲げる検査事項のうち次に掲げるもの

イ　原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の機能又は性能を確認する検査のうち次に掲げるもの

(1)　沸騰水型発電用原子炉施設（発電用原子炉施設（沸騰水型軽水炉に係るものに限る。）をいう。以下同じ。）にあっては、原子炉冷却材の循環設備、原子炉冷却材再循環設備、原子炉冷却材浄化設備、原子炉格納容器内の原子炉冷却材の漏えいを監視する装置並びに別表第二の中欄に掲げる原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格に係る設備又は装置に係るもの

(2)　加圧水型発電用原子炉施設（発電用原子炉施設（加圧水型軽水炉に係るものに限る。）をいう。以下同じ。）にあっては、一次冷却材の循環設備、主蒸気・主給水設備、余熱除去設備、化学体積制御設備、原子炉補機冷却設備、原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置並びに別表第二の中欄に掲げる原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格に係る設備又は装置に係るもの

ロ　計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置を除く。）の機能又は性能を確認する検査のうち次に掲げるもの

(1)　沸騰水型発電用原子炉施設にあっては、発電用原子炉の制御設備、制御材駆動装置、計測装置、安全保護設備（発電用原子炉の非常停止並びに工学的安全施設（設置許可基準規則第二条第二項第十号に規定する工学的安全施設をいう。以下同じ。）その他重大事故等発生時に自動的に作動させる設備の作動に必要な計測制御系統施設に属する設備をいう。以下この項において同じ。）、制御用空気設備、原子炉冷却材再循環ポンプ電源装置並びに別表第二の中欄に掲げる計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置を除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格に係る設備又は装置に係るもの

(2)　加圧水型発電用原子炉施設にあっては、発電用原子炉の制御設備、制御用空気設備、ほう酸注入機能を有する設備、ほう素熱再生設備、計測装置、安全保護設備、制御用空気設備並びに別表第二の中欄に掲げる計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置を除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格に係る設備又は装置に係るもの

ハ　原子炉格納施設の機能又は性能を確認する検査のうち次に掲げるもの

(1)　沸騰水型発電用原子炉施設にあっては、真空破壊装置、原子炉格納容器安全設備、放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備、原子炉格納容器調気設備並びに別表第二の中欄に掲げる原子炉格納施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格に係る設備又は装置に係るもの